

(2020年10月21日)

令和元年度パートナーシップ排雪実証実験結果のまとめ

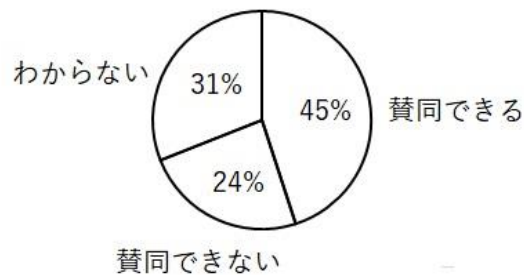
澄川中央町内会

“道路に雪を多く残し、排雪費用を軽減する”排雪断面を選択できる制度の実証実験を令和元年度当町内会でも実施しました。実証実験について沿線住民を対象にアンケート調査が行われ、その結果の報告がありましたので、一部を掲載します。

中央町内会では230世帯にアンケートが配布され、76世帯より回答がありました(回答率33%)。

次年度以降、貴方の属する町内会が支払額を抑える排雪断面を選択することに賛同できますか?の問いに対する回答は図に示す通りでした。

町内会の支払額を抑える排雪断面を選択することに賛同できますか?



賛同できる理由として

各戸、町内会費の増額にたえられない。

町内会の運営上、排雪費の抑制は必要。

通行に不便がなければ、素晴らしくきれいに排雪できなくても良いと思う。

賛同できない理由として

残る雪が多く不便を感じた。

町内会費を値上げしてもきれいに排雪してほしい。

残される雪の量が、家ごとに不公平で容認できない(補足説明①)。

その他自由意見として

今年は雪が少なかったので、例年と比べられない。

例年のように雪が多い場合には不便を感じると思う。

排雪費を抑えたことで、その分、町内会費にどのように活用されたかわからない(補足説明②)。

がありました

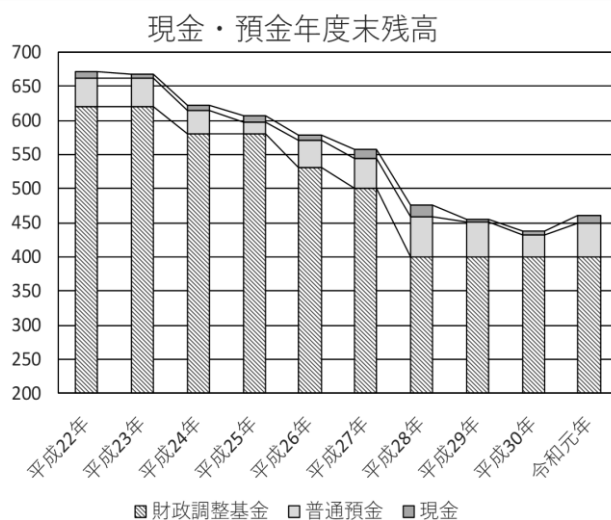
(補足説明は裏面に)

補足説明①

道路幅の違いにより、道路に残す雪の場所が異なります。道路幅の広い道路では、路面の雪を削って道路わきに寄せ、路面の雪はこれまで通りの厚さになります（10cm程度）。一方、道路幅の狭い道路では、路面に残る雪が厚くなりますが（20cm程度）、通行幅はこれまでどおり確保されます。

補足説明②

排雪費を抑えた分は、次年度繰越金として繰り越しました。その結果、図に示すように町内会の財政状態が少し改善されました。



(縦軸の単位万円)